

## 利尻島におけるハマウツボの初記録

佐藤雅彦

〒 097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町 利尻町立博物館

### The first record of *Orobanche coerulescens* from Rishiri Island, northern Hokkaido

Masahiko SATO

Rishiri Town Museum, Senhoshi, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0311 Japan

**Abstract.** *Orobanche coerulescens* Stephan was firstly recorded from Rishiri Island, northern Hokkaido.

礼文島ではキヨスミウツボ *Phacellanthus tubiflorus* Sieb. et Zucc. とハマウツボ *Orobanche coerulescens* Stephan が 館脇 (1934) や 宮本 (2001) によって報告されているが、利尻島ではハマウツボ科 Orobanchaceae に属する種の記録はこれまでなかった (館脇, 1941; 松野, 1984)。

筆者は利尻島北部の大磯の海岸にてハマウツボを確認することができたので、ここに報告する。発見場所は砂浜から約 20 m ほど内陸にはいった砂地で、テンキグサ、エゾカワラマツバ、ハマボウフウ、オオヨモギ、ハマヒルガオ、ナミキソウ、ハチジョウナ、ハマニガナなどが見られる場所であった。ハマウツボはその場所の 2 m × 1 m ほどの区画に 15 株ほどが確認されたが、周辺の砂地では発見することができなかった。利尻島では砂地や砂浜が局所的に分布し、そのためハマウツボの生息域もかなり限られた場所にしかないことが推測される。ハマタイセイなどととも希少植物が生息する利尻島の海岸植生の保全は、今後の大きな課題と思われる。

なお、標本 (RTMP405, O-iso, Rishiri Island, Hokkaido, Japan., 2003.vii.20, Masahiko Satô) は利尻町立博物館にて保管する。

#### 参考文献

- 館脇 操, 1934. 北見礼文島植物概説, 植物目録: 1-24. 北海道景勝地協会, 札幌.
- 館脇 操. 1941. 北見利尻島の植物. 札幌農林学会報, (34): 70-102.
- 松野力蔵 (編), 1984. 利尻島の植物目録と礼文島特産植物目録. 38pp. 自刊.
- 宮本誠一郎, 2001. 礼文島のハマウツボ科. 利尻研究, (20): 61-62.
- 山崎 敬, 1981. 日本の野生植物, 草本 III ハマウツボ科: 134. 平凡社, 東京.